

CSR経営の確立に向けて ―中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan」

長谷工グループは、「住まいと暮らしの創造企業グループ」としての更なる飛躍を目指して、2020年2月、長谷工グループ長期ビジョン～2030年3月期に目指す姿～と、その実現に向けた2025年3月期までの中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan(NS計画)」を策定しました。

NS計画での重点戦略として「CSR経営への取り組み」を掲げ、企業経営とCSRの更なる連動を図ることで、長谷工グループの持続的成長を目指しています。

住まいと暮らしの創造企業グループにおける更なる飛躍を果たすべく、以下の取り組みを進めています。

CSR経営への取り組み

- 事業を通じた課題解決によって「社会価値の創造」と「グループの成長」を両立させ、企業価値向上を実現
- 長期的な成長を図るうえで重要なESG要素と当社グループの強みをCSR取り組みテーマに取り纏め、CSRの目指す姿として推進

4つのCSR取り組みテーマ

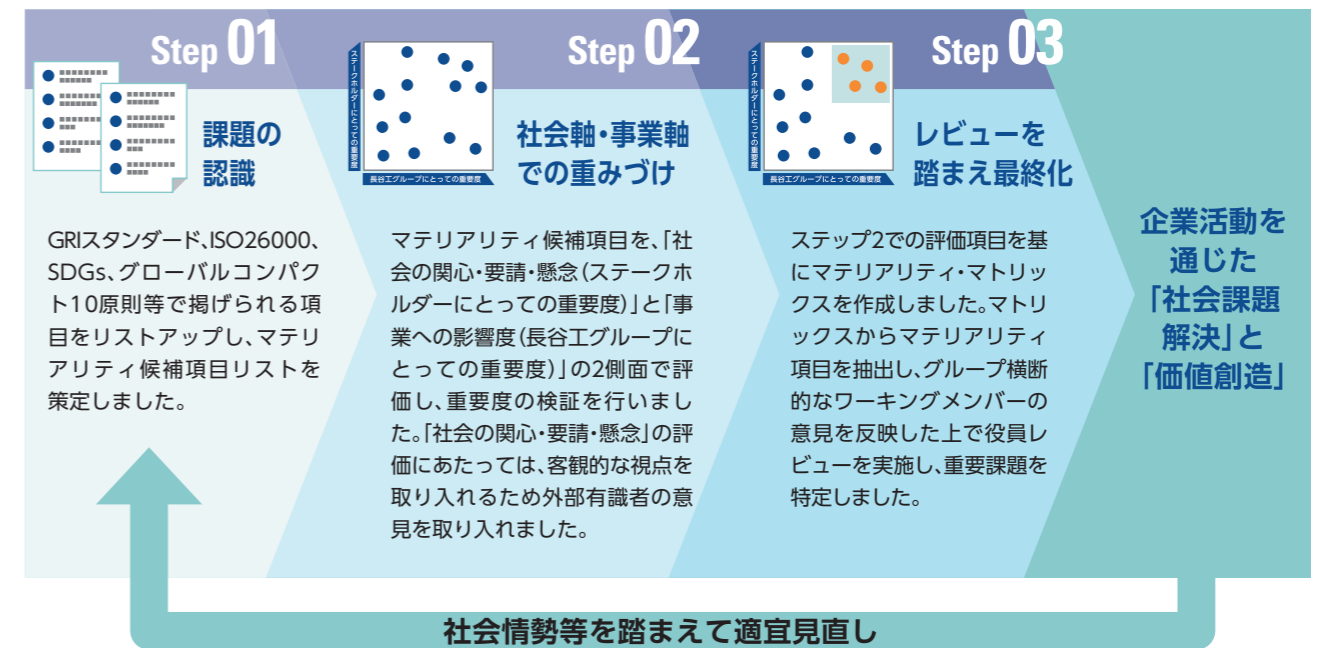
長谷工グループのCSRの目指す姿である「4つのCSR取り組みテーマ」の実現に向けた取り組みを推進しています。

4つのCSR取り組みテーマ	マテリアリティ(重要課題)	関連するSDGs	ESG
住んでいたい空間	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な暮らしとまちづくり 製品(サービス)の安全 技術開発 コミュニティへの配慮と参画 		E/S
働いていたい場所	<ul style="list-style-type: none"> 人的資本(ダイバーシティ&インクルージョン・人材育成) 労働環境・安全衛生 		S
大切にしたい風景	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動への対応 生物多様性への配慮 汚染予防・周辺環境配慮 		E
信頼される組織風土	<ul style="list-style-type: none"> 人権の尊重 サプライチェーン・マネジメント ガバナンス・リスクマネジメント 情報開示とエンゲージメント 		G

マテリアリティ

気候変動やエネルギー問題、少子高齢化、貧困・人権問題など多くの環境・社会課題が山積しており、企業が課題解決に果たす責任は大きくなっています。長谷工グループでは、優先的に取り組むべき課題を事業軸・社会軸の視点で検討のうえマテリアリティとして特定し、CSRを推進する上での指針としています。なお、マテリアリティの内容は、2017年に初めて特定した後、2020年4月及び、2023年5月に見直しを行いました。今後も、経営方針・社会情勢との整合性の観点から適宜見直しを行ってまいります。

マテリアリティの特定プロセス



長谷工グループのマテリアリティ

特定したマテリアリティは、4つのCSR取り組みテーマの要素としてすべて盛り込んでいます。

4つのCSR取り組みテーマとの関連性:

■住んでいたい空間 ■働いていたい場所 ■大切にしたい風景 ■信頼される組織風土

